



# プロテクメート<sup>®</sup> WDG

殺菌剤

芝用

藻類・炭疽病・ピシウム病に



藻類



炭疽病



ピシウム病





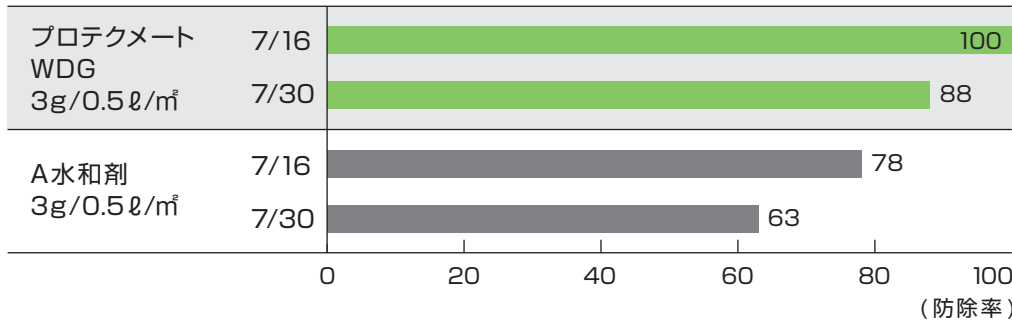
特 長

- 藻類(藍藻類および緑藻類)・ピシウム病・炭疽病に対して、高い予防効果
- ベントグラスに対して影響が少ない
- 扱いやすい2kg袋(6袋/ケース)
- 粒立ちが少なく溶けやすい顆粒水和剤
- 抵抗性出現リスクが低い、多作用点を阻害するジチオカーバメート系殺菌剤のためローテーション散布に有効

防除結果

藻類(発生前処理)

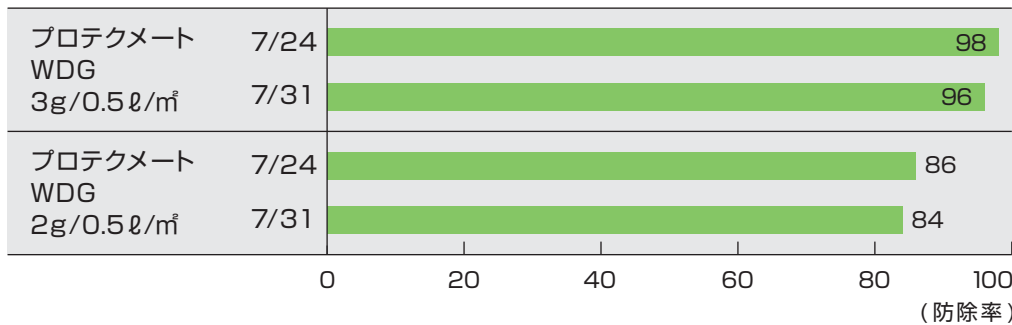
平成20年 関東Aゴルフ場ベントグラスナーセリー



- 区制・面積：1㎡
- 薬剤処理：5月21日、6月4日、6月18日
- 散布水量：0.5ℓ/㎡
- 調査：7月16日(散布28日後)、7月30日(散布42日後)

炭疽病(発生前処理)

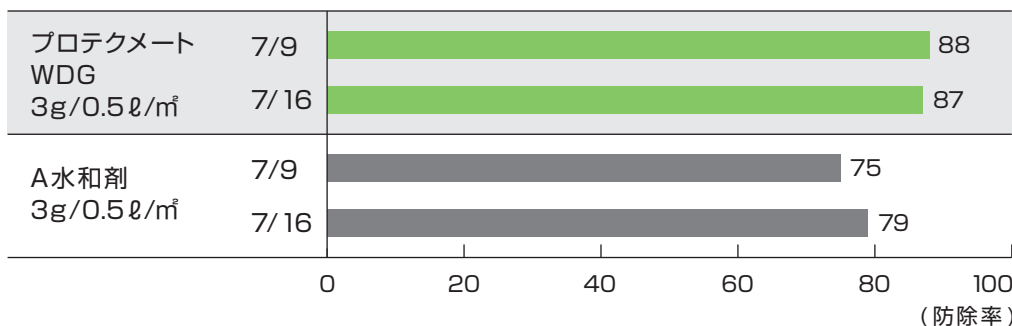
平成19年 バイエルクロップサイエンス(株) 西日本試験室



- 区制・面積：1㎡
- 薬剤処理：6月20日、6月27日、7月3日
- 散布水量：0.5ℓ/㎡
- 調査：7月24日(散布21日後)、7月31日(散布28日後)

ピシウム病(発生前処理)

平成20年 バイエルクロップサイエンス(株) 西日本試験室



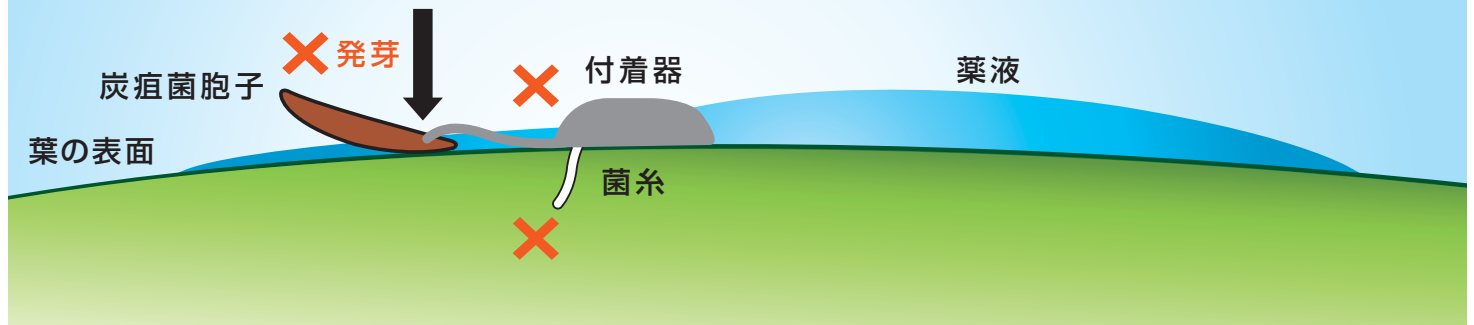
- 区制・面積：1㎡
- 薬剤処理：6月18日、6月26日、7月1日
- 散布水量：0.5ℓ/㎡
- 調査：7月9日(散布8日後)、7月16日(散布15日後)

# 藻類や病害発生前の2回以上の複数回散布で高い効果を発揮します。

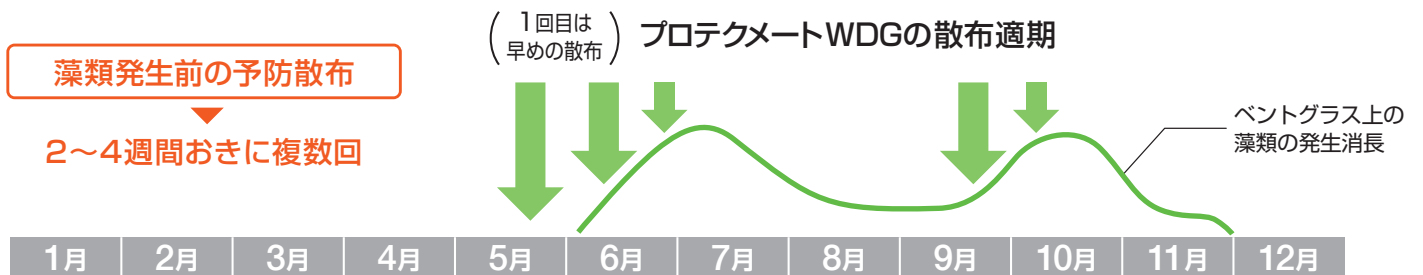
## 接触型多作用点阻害殺菌剤「プロテクトWDG」の作用性

葉の表面に付着した薬液が炭疽菌の発芽を阻止して、菌糸の侵入を防ぎます。

胞子からの発芽を阻害することにより、付着器の形成と、菌糸の侵入を抑えます



## 藻類防除



## 病害防除

- 予防散布で高い効果を発揮します。複数回散布が効果的です。
- 「シグネチャーWDG」や「ミラージュフロアブル」などのストレスガード製剤との殺菌剤プログラム散布に組み込むと効果的です。

プログラム散布により、高いターフクオリティを実現。

9月1日:全プロットにピシウム専用剤A 0.5ml/m<sup>2</sup>散布



炭疽病・赤焼病が発生

散布実施日	5/31	6/16	7/1	7/16	8/3	8/18	9/1	9/15
プログラム散布例 (ストレスガード製剤8回)	● シグネチャーWDG ● プロテクトWDG ● ミラージュフロアブル	● シグネチャーWDG ● A剤	● シグネチャーWDG ● プロテクトWDG ● ミラージュフロアブル	● シグネチャーWDG ● A剤	● シグネチャーWDG ● デディケートフロアブル	● シグネチャーWDG ● プロテクトWDG ● ミラージュフロアブル	● シグネチャーWDG ● デディケートフロアブル	● シグネチャーWDG ● プロテクトWDG ● ミラージュフロアブル

プログラム散布試験 2010年 関東Bゴルフ場

※「シグネチャーWDG」と「ミラージュフロアブル」はストレスガード製剤技術を採用しています

⚠ 高温時の散布はご注意ください。●特に8月下旬~9月上旬のベント衰退期は黄化の恐れがあります。



プロテクト  
WDG

殺菌剤

芝用

農林水産省登録  
第22362号

## 適用と使用方法

作物名	適用病害名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	プロピネブを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
西洋芝 (ベントグラス)	藻類	藻類発生始期 (芝生育期)	2~3g/m <sup>2</sup>	0.5ℓ/m <sup>2</sup>	6回以内	散布	6回以内
	赤焼病、 ピシウム病	発病前~ 発病初期					
	炭疽病						

## 有効成分と性状

種類名	プロピネブ水和剤
商品名	プロテクトWDG
有効成分	プロピネブ・・・70.0%
性状	淡褐色水和性微粒及び細粒
荷姿	2kg×6/箱

## 人畜・魚介類に対する安全性(製剤)

人畜毒性 (急性) 普通物*	経口	ラット(♂♀)	LD <sub>50</sub> >5,000mg/kg
	経皮	ラット(♂♀)	LD <sub>50</sub> >2,000mg/kg
	皮膚刺激性	ウサギ	軽度の刺激性あり
	眼刺激性	ウサギ	軽度の刺激性あり
感作性	モルモット		感作性なし
水産動植物に 対する影響	コイ		LC <sub>50</sub> 100mg/ℓ (96hr)
	オオミジンコ		EC <sub>50</sub> 5.99mg/ℓ (48hr)
	藻類		ErC <sub>50</sub> 0.0187mg/ℓ (24-72hr)

\*「毒物および劇物取締法」に基づく「毒劇物の指定を受けない物質を示す」

## ⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 散布液の調製にあたっては、十分に攪拌してください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 石灰硫黄合剤などアルカリ性薬剤との混用はさけてください。また、ボルドー液、銅水和剤等銅を含む薬剤との混用及び近接散布は薬害を生ずる恐れがあるので避けてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 高温時には芝が黄化する恐れがあるので、使用を避けてください。

## ⚠ 安全使用上の注意事項

- 眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗いしてください。
- 散布時は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗いうがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時の衣服等は他と分けて洗濯してください。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意してください。
- 公園等で使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせないようにしてください。小児、人畜等に留意してください。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
- 食べられません。
- 有効年月内に使用してください。
- 体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取扱い及び作業をしないでください。

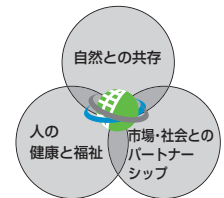
## ⚠ 貯蔵上の注意事項

- 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷蔵・乾燥した場所に保管してください。

**魚毒性等**・・・水産動植物(藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。また、空袋等は、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。



バイエルクロップサイエンスでは、将来の世代のニーズを損なうことなく現世代のニーズを満たす、「持続可能な発展」のため、Protecting Tomorrow ... Todayをモットーに  
① 人の健康と福祉 ② 自然との共存 ③ 市場・社会とのパートナーシップ  
を柱として様々な活動を実施しています。



- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



Bayer

バイエル クロップサイエンス株式会社  
エンバイロサイエンス事業本部  
〒100-8262 東京都千代田区丸の内1-6-5  
【お客様相談室】0120-575-078  
www.es.bayer.jp

お問い合わせ先